

# 中学校第2学年 社会科 学習指導案

期 日 平成21年10月8日(木) 第5校時  
場 所 山鹿市立山鹿中学校 2年6組教室  
指導者 教諭 下津 光雄

## 1 単元名

「世界と日本の資源と産業」(東京書籍)

## 2 単元について

- (1) 本単元は、資源や産業の面において、世界的視野から見た日本の地域的特色や日本全体の視野から見た国内の地域的特色を追究する活動を通して、我が国の国土の特色をとらえる単元である。

我が国は、資源や産業の面で見ると、鉱産資源やエネルギー資源には恵まれていないが、世界有数の工業国であり、よりよい製品づくりやサービスが地域の環境条件を生かして行われている国である。しかし、大量の資源を輸入に頼らざるを得ないことや資源、エネルギーの大量消費に伴う環境問題、エネルギー問題を抱える国の一つとすることもできる。我が国の資源や産業の地域的特色をまとめると、次の三つが挙げられる。

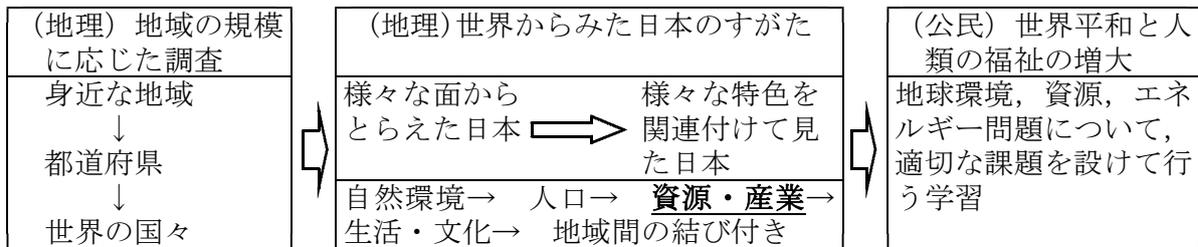
①世界的視野から見て、日本は、資源に恵まれていない国であるが、土地が高度に利用され、産業が発達していること

②日本国内では、地域の環境条件を生かして多様な産業地域が見られること

③日本は、環境やエネルギーに関する課題を抱えている国であること

このような地域的特色について、生徒がさまざまな資料を収集、選択し、地理的にまとめて説明したり、地域間を比較、関連させ、自分の解釈を加えて論述したり意見交換をしたりするなど、さまざまな言語活動を充実して行うことのできる単元である。

- (2) 本単元の系統は次のとおりである。



- (3) 本単元に係る生徒の実態は次のとおりである。

本学級において、事前に行った言語活動に関する実態調査の結果は、下表のとおりである。

生徒の実態を分析してみると、分布図やグラフ等の資料の読み取りや複数の資料の比較や関連、資料を活用して説明することについては、少しずつではあるが、定着が進んでいると言える。しかし、まだ各生徒がこれらを自信を持ってできるまでには至っていない。特に、自分の考えを明らかにする・伝えるということに関しては、苦手とする生徒が多く、指導上の大きな課題である。これらの課題の対策として、授業においては、ペアによる対話活動を中心に、互いの気付きや考えを交換する場面を可能な限り取り入れて、資料からの読み取りや解釈、さらには、それらを説明する力を育てることに努めている。現在、これらの活動には、積極的に取り組むことができるようになっているが、まだ自信を持って、全体場で自分の考えを伝えるまでには高まっていない。

| アンケート項目   | ア | イ  | ウ  | エ |
|---|---|----|----|---|
| 1 分布図やグラフから大まかな傾向を読み取ることができている                          | 2 | 24 | 9  | 0 |
| 2 資料を比較して、違いや共通点を探したり、関連付けたりできている                       | 2 | 21 | 12 | 0 |
| 3 資料を使い、友達に対して分かりやすく説明できている                             | 5 | 19 | 11 | 0 |
| 4 自分の考えを明確にし、伝えようとしている                                  | 4 | 14 | 17 | 0 |
| 5 ペアや班学習で、友達の意見を聞いたり、自分の意見を伝えたりして、意見を広げたり高めたりすることができている | 8 | 22 | 5  | 0 |

(ア=できている イ=だいたいできている ウ=あまりできていない エ=できていない)

次に、事前に行った評価問題の解答状況から生徒の実態を述べたい。この評価問題の内容は、四つの地理的条件に当てはまる都道府県を探し、そのすべての条件に当てはまる都道府県を求めるものである。この問題は、地図等の資料を活用する力、調べた結果を解答に結び付ける思考力・判断力、及び思考し・判断した過程について振り返りながら表現する力を問うものである。

評価問題を分析してみると、資料から必要な情報を読み取ることはできているが、次の3点について課題が見られる。

- ①必要な資料を探すこと、また資料から必要な情報を取り出すことに時間がかかりすぎる。
- ②調べた結果について、うまくまとめ、それらを正確に表現することができない。
- ③結論に至るまでの過程について考えたこと、判断したことをもとに説明することができない。

これらの事前調査から、資料から必要な情報を読み取る力や複数の資料を比較したり、関連させたりする力は定着してきているが、学習の過程で出てきた事実や根拠をもとに、自分の考えをまとめたり、それを自分の言葉で表現したりする力の定着が不十分であると言える。

(4) 指導にあたっては、次の点に留意する。

- 我が国の資源や産業の現状及び課題についてとらえ、私たちの生活と関連付けながら今後どのようにあるべきかを考える場を設ける。

〈思考力、判断力、表現力の育成を図るための言語活動の視点〉

- 資料の読み取り方、資料を比較・関連付けた説明の仕方、地域的特色を説明するために必要な地名等の基礎的知識の習得、ペアでの意見の交換の仕方等を継続的に指導することで、一人一人が課題に対し、主体的に取り組めるよう、基礎・基本となる力を高めていく。
- 資料を読み取る時間や自分の意見を練り上げる時間など、各自が学習課題にしっかりと向き合う時間の確保に努める。
- 本単元で扱う日本の地域的特色は、資料の丹念な読み取りによりとらえさせる。そのための資料の選定については、互いに関連性があり、効果的に地域的特色をつかむことができる地図、グラフ、写真などの資料を精選する。
- 複数の資料（地図や統計資料、グラフ）を比較・関連付けて、自分の考えを論述させるための補助的発問や指示、ワークシート等の工夫を行い、多面的・多角的に考察し、表現できる力の定着や向上を図っていく。
- 分布図やグラフなどの傾向を読み取り、資料を用いて、相手に分かりやすく説明する場を多く設けることで、的確に表現する力の定着を図っていく。
- 自分の考えと他者の考えを比較しながら検討する活動として、ペアによる対話活動を積極的に取り入れ、自分の意見を深めたり、広げたりする力の定着や向上を図っていく。
- 学習を振り返り、自分の考えがどのように変容し、深まっていったのかをまとめ、表現する活動を行い、自らの学習の成果や共に学び合うことの大切さを実感させる。

〈人権教育の視点〉

- 複数の資料を比較・関連付ける学習や他者との対話活動により、社会的事象を多面的・多角的に見ることの大切さや社会的事象を公正に判断しようとする態度を育てる。
- それぞれが協力し、高め合う学習活動を多く取り入れるとともに、「認め、ほめ、励ます」支援を的確に行い、それぞれが意欲的に課題に取り組める雰囲気をつくっていく。

### 3 単元の目標と評価規準

|                       |   |
|-----------------------|---|
| 単元の目標                 | 資源・産業の面で、日本は資源に恵まれないが、産業が盛んで、環境やエネルギーに関する課題を持つ国であることをつかむ。 |
| 社会的事象に関する<br>関心・意欲・態度 | 資料の読解やペア活動などに意欲的に取り組み、日本の地域的特色をとらえようとしている。                |
| 社会的な思考・判断             | 既存の知識や資料をもとに、それらを比較関連付けながら判断し、自分の意見を持つことができる。             |
| 資料活用の技能・表現            | 資料から追究のために必要な情報を読み取り、それを活用しながら地理的なまとめ方や発表をすることができる。       |
| 社会的事象についての<br>知識・理解   | 資源や産業に関する日本の地域的特色をとらえる視点や方法などを理解し、その知識を身に付けている。           |

4 指導・評価の計画（7時間扱い）

| 次時 | 学 習 活 動   | 指 導 上 の 留 意 点<br>※言語活動とその留意点   | 評価項目（方法）   |
|----|---|--|--|
| 1  | 1<br>○世界の鉱産資源・エネルギー資源の分布とその消費の特色を説明する。<br><br>○世界から見た、日本のエネルギー事情を調べる。         | ・日本を一つの地域として、特色を説明させる。<br><br>※分布図の読み取りや統計資料の地図化を通して、視覚的にとらえ考えさせる。                             | 資源の少ない日本のエネルギー資源の生産・消費の状況を、分布図やグラフを使い意欲的に調べることができる。<br>【関心・意欲・態度】<br>(学習シート) (観察法)         |
|    | 2<br>本時<br>○日本の発電所の分布を予想し、その理由を示す。<br><br>○原子力発電所の分布の立地条件を、他の資料と関連付けて説明する。    | ・予想したことを資料を用いて検証していくように進める。<br>※発電所の分布や立地条件について自分の考えを、ペアによる対話活動を通して、整理し深めさせる。                  | 日本の発電所の分布について、いくつかの分布図やグラフなどと関連付けて考えることができる。<br>【思考・判断】<br>(学習シート) (観察法)                   |
| 2  | 3<br>世界的に見た産業<br>○世界の農林水産業や工業の現状をまとめ、説明する。<br><br>○世界から見た日本は、産業ではどんな国か説明する。   | ・日本を一つの地域として、特色を説明させる。<br><br>※世界的に見た産業の現状を地図やグラフ等様々な形式の資料を用いながら、まとめ、説明させる。                    | 日本が世界有数の工業国であることを、地図やグラフを用いて理解できる。<br>【知識・理解】<br>(学習シート) (観察法)                             |
|    | 4<br>日本の農業<br>○日本の農業の特色を世界との比較や地域間の比較で示す。<br>○今後の日本の農業の活性化について提案する。           | ・農業の活性化については、グループ提案とする。<br><br>※今後の日本の農業の活性化について、様々な資料をもとにグループで協議し、協議した結果を根拠を明確にしながら説明させる。     | 日本の農業の特色を世界との比較及び地域間の比較をもとに、複数の視点で説明することができる。<br>【資料活用の技能・表現】<br>(学習シート) (観察法)             |
|    | 5<br>日本の林業・漁業<br>○日本の林業・漁業の現状や課題についてまとめる。<br>○未来型の林業のあり方を提案する。                | ・未来型の林業のあり方は、グループ提案とする。<br><br>※未来の林業のあり方について、様々な資料をもとにグループで協議し、根拠を明確にしながら説明させる。               | グラフ資料をもとに、日本の林業や漁業の現状や課題について、複数の視点で説明できる。<br>【資料活用の技能・表現】<br>(学習シート) (観察法)                 |
|    | 6<br>日本の工業<br>○日本の工業の現状や変化についてまとめる。<br><br>○今後の日本の工業のあり方を提案する。                | ・今後の日本の工業のあり方は、グループ提案とする。<br><br>※日本の工業の変遷を、自動車産業についての資料をもとに、具体的にとらえさせ、それらの資料を活用しながらまとめさせる。    | 日本の工業が臨海から内陸へ広がり、加工貿易への依存から多国籍企業へと変化してきたことを、その理由とともに考えることができる。<br>【思考・判断】<br>(学習シート) (観察法) |
|    | 7<br>日本の商業・サービス業<br>○日本の商業・サービス業の種類とそれぞれの現状をまとめる。<br>○山鹿市を活性化するサービス業について提案する。 | ・山鹿市を活性化するサービス業については、グループ提案とする。<br><br>※山鹿市に関する写真や広告をもとに、商業やサービス業の種類や現状について自分の経験と結び付けながら説明させる。 | 広告や写真をもとに、現在活躍している店について商業・サービス業上の分類をすることができる。<br>【資料活用の技能・表現】<br>(学習シート) (観察法)             |



|                       |  |   |  |                     |
|-----------------------|--|---|--|---------------------|
| <p>終末<br/>5<br/>分</p> | <p>3 授業の振り返り<br/>を行い、授業のま<br/>とめをする。</p> | <p>○今日の授業を振り返り、<br/>予想から最後まで<br/>のまとめをしまし<br/>ょう。</p> | <p>数の資料と関連させな<br/>がら自分の考えを説明<br/>している。<br/>A：原子力発電所の分布の<br/>地理的特徴をとらえ、<br/>分布の理由について複<br/>数の資料と関連させ、<br/>それらを総合して説明<br/>している。<br/>※学習を通して、自分の考えが<br/>どのように変容していったの<br/>か、振り返りながら、課題に対<br/>してまとめを考えさせる。</p> | <p>振り返り<br/>カード</p> |
|-----------------------|--|---|--|---------------------|